3．オペレーティング・リース取引に係る未経過リース料

貸借対照表日後一年以内のリース期間に係る未経過リース料	11,522,000円
貸借対照表日後一年を超えるリース期間に係る未経過リース料	23,044,000円

4．減損処理関係

⑴　減損を認識した固定資産の種類、場所、用途、帳簿価額等の概要

種　類	場　所	用　途	１回線当たり帳簿価額	回　線　数	帳 簿 価 額
電話加入権	本部	通信	13,000円	45	585,000円

⑵　減損の認識に至った経緯

上記のうち、33回線につきましては、現在使用を休止しているためであります。

また、残り12回線につきましては、使用を継続しておりますが、市場価格が下落しているためであります。

⑶　減損額の計上

帳簿価額が回収可能サービス価額を上回らないため、減損額は計上しません。

⑷　回収可能サービス価額の概要

ＮＴＴ東日本公定価格37,800円（１回線当たり）を再調達価額とした使用相当額（37,800円）を回収可能サービス価額としました。

（キャッシュ・フロー計算書関係）

1．キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金及び要求払預金

2．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金勘定	669,975,215円
資金期末残高	669,975,215円

3．重要な非資金取引

翌事業年度以降に重要な影響を与える非資金取引はありません。

（金融商品関係）

1．金融商品の状況に関する事項

当法人の保有する主な金融資産は、短期的な預金及び投資有価証券であります。投資有価証券は独立行政法人通則法の第47条の規定等に基づき、今期５年国債を取得しており、これは満期保有目的で保有しております。

2．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額及びこれらの差額については、次の通りであります。

（単位：円）

	貸借対照表計上額	時　価	差　額
⑴現金及び預金	669,975,215	669,975,215	0
⑵未収金	614,724,294	614,724,294	0
⑶投資有価証券			
①満期保有目的の債券	202,130,000	203,140,000	1,010,000
⑷未払金	(130,950,904)	(130,950,904)	0

㈱　負債に計上されているものは、(　)で示しております。

（注１）　金融商品の時価の算定方法ならびに有価証券に関する事項

⑴　現金及び預金、未収金、未払金

これらは、短期間で決済されるため、時価は帳簿価格にほぼ等しいことから、当該帳簿価格によっております。

⑵　投資有価証券

時価については、取引金融機関から提示された価格によっております。

（注２）　敷金・保証金

敷金・保証金については、市場価額がないこと、また将来キャッシュ・フローを見積もることができないことなどから、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

（重要な債務負担行為）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

附　属　明　細　書

1．固定資産の取得及び処分並びに減価償却費（「第87　特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）及び減損損失累計額の明細

（単位：円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額	差引当期末残高	摘要
							当期償却額			
有形固定資産（償却費損益内）	建物	67,706,016	15,916,963	8,799,988	74,822,991	24,861,015	5,117,175	0	49,961,976	
	車両運搬具	1,418,243	0	0	1,418,243	1,361,509	28,364	0	56,734	
	工具器具備品	116,913,614	10,012,616	6,308,839	120,617,391	80,252,503	20,274,475	0	40,364,888	
	計	186,037,873	25,929,579	15,108,827	196,858,625	106,475,027	25,420,014	0	90,383,598	
有形固定資産（償却費損益外）	建物	1,058,500	0	0	1,058,500	1,016,159	21,170	0	42,341	
	計	1,058,500	0	0	1,058,500	1,016,159	21,170	0	42,341	